

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆2025年の基本給3.1%増 過去最高の平均34万600円、伸び率は鈍化

・厚生労働省は2025年の賃金構造基本統計調査の速報値を公表した。パートやアルバイトなど短時間労働者を除く一般労働者の平均賃金は月34万600円と1976年以降で最高となった。増加率は3.1%と前年を0.7ポイント下回った。25年6月時点の状況について、従業員10人以上の民間企業の回答をまとめた。

◆企業での不正行為、権限集中や孤立が誘発 KPMGが初の世界調査

・会社の資産を私的な目的で使うなどの不正行為について、大手会計事務所のKPMGが2025年に実施した世界調査の結果を公表。不正を誘発する環境要因として、権限の集中や孤立などの影響が大きいことがみえてきた。不正行為者の性別は男性が81%を占め、年齢層では36～45歳(37%)、46～55歳(30%)の比率が高かった。

◆震災「個の備え」弱い首都圏 地震保険の付帯率、東京は6割どまり

・震災の生活再建に向けた「個の備え」が首都圏で手薄。2024年度に火災保険とセットで地震保険を付けた割合(付帯率)は、東京都で6割にとどまり47都道府県のうち3番目に低かった。相対的に高い保険料率などが要因とみられ、専門家は「災害リスクへの危機意識を高める取り組みが必要」と指摘する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆大型工事「26年度受注できず」建設会社の7割 成長投資阻む人手不足

・大手・中堅の建設会社の約7割が2026年度内は大型工事を新規受注できないとみていることが日本経済新聞の調査で分かった。建設業界の深刻な人手不足が響く。4割弱は契約済みの工事で工期が遅れる可能性があるという回答した。受注余力の縮小は民間の設備投資や公共投資を制約し、経済成長の足かせとなる。

◆薄く軽いペロブスカイト太陽電池 積水化学・パナHDが投入

・次世代太陽電池として注目されている薄くて軽いペロブスカイト太陽電池。積水化学工業が2026年3月に商用化し、パナソニックホールディングスも同年から試験販売を始める。他社も開発に動いている。日本発の技術で、次世代再生エネルギーの拡大に向けた切り札との呼び声もある。実用化が進めば、各社の収益に寄与しそう。

◆タカラスタANDARD、牛乳石鹸とコラボキャンペーン

・タカラスタANDARDは、牛乳石鹸共進社とコラボレーションしたプレゼントキャンペーン「ガモウから洗おうプロジェクト」を1月18日から開始。蒲生(ガモウ)エリアに本社を置く両社は、水回り関連企業として共通点が多く、同じ町で100年近くの歴史を歩んできた。これからは洗面による身支度を楽しんでほしいという思いから、今回のコラボレーションが決定。

《 注目商品 》

■ミラタップ、横幅のミリ単位オーダーが可能なキッチン「Altina(アルティナ)」

・横幅のミリ単位オーダーが可能な同社初のセレクトオーダーキッチン。天板はステンレスやセラミックなど27種類、扉面材は58種類の豊富なバリエーションから選べ、5万通り以上の組み合わせが可能。空間に合わせて設計できるオーダー対応商品のため、リフォームにも最適。



■三和シャッター工業、手動窓シャッターをシャフト交換だけで電動化

・既設の手動窓シャッターを電動化する「マドモアチェンジ」に新モデルを追加。従来のモデルではシャッターボックス内に別置開閉機の設置スペースが必要だったが、新モデルは開閉機を内蔵したシャフトの交換だけで電動化でき、窓シャッターの電動化が可能。



■南海プライウッド、洗濯家事の時短を実現

・洗濯機上にガス衣類乾燥機「乾太くん」を設置できる棚板セット。厚み32mm×奥行600mm×幅650mmのミニマムサイズで、狭い洗濯脱衣室でも設置可能。動線を最小限に抑えることで、時短と効率化を実現。安全性とデザイン性を両立。

